公益社団法人日本地震学会 2021 年度第 3 回理事会議事録

１．日　時　　2021 年 9 月 9 日（水）　9：30～13：05
２．場　所　　新型コロナウイルス感染拡大予防のため Zoom を利用したビデオ会議により開催
議長：東京都文京区弥生 1-1-1　東京大学地震研究所
事務局（議事録作成）：東京都文京区本郷 6-26-12 東京 RS ビル
公益社団法人日本地震学会事務局
３．理事数　　15 名
４．出席者　　理事 15 名，監事 3 名，オブザーバー 1 名
・理　事：小原一成，吾妻　崇，加納靖之，久家慶子，齊藤竜彦，酒井慎一，佐藤利典，豊国源知，中川和之，中島淳一，西田　究，久田嘉章，干場充之，室谷智子，綿田辰吾
・監　事：鈴木善和，山岡耕春，横井俊明
・オブザーバー：行竹洋平
・事務局：中西のぶ江

５．審議事項
議長小原一成は，本日の理事会がビデオ会議システムにより，出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意思表明が互いにできる仕組みを確認後，理事出席者が 15 名であり定足数を満たし理事会が成立することを宣言した．続いて，以下の議案について，逐次審議に入った．

第 1 号議案　代議員選挙にかかる規定の改定について
中島常務理事より，電子投票に対応するために役員代議員選挙規則，役員代議員選挙実施細則，通常代議員選挙規則，通常代議員選挙実施細則の改定案が提示された．現行規則からの改定箇所が説明され，審議の結果，理事からの意見や質問に対し検討を行い，軽微な修正は中島常務理事に一任するものとし，改定案を理事MLで確認後に承認することとした．ただし，手続きにかかわる修正となる場合には改めてメール審議とする．

第 2 号議案　選挙管理委員会の設置について
中島常務理事より，今年度行われる代議員選挙の選挙管理委員会の設置および委員の選任について提案された．審議の結果，選挙管理委員会の設置を承認し，提案された選挙管理委員候補者 5 名を選挙管理委員として選任することとした．

第 3 号議案　社会活動基金の使用について【ぼうさいこくたい 2021】

中川理事（普及行事担当）より，社会活動基金を原資とするぼうさいこくたい 2021 での住民セミナー事業の開催が提案された．セッション「私たちはどう伝えればよい？ジオガイドが徹底質問＝どこまでわかった東北地方太平洋沖地震，何がわかってない日本海溝・千島海溝や南海トラフの地震」の事業概要が説明され，社会活動基金を使用する必要経費として，事業担当者および講師の旅費交通費・ウェビナー機能の付加費用等がかかる見込みとの説明があった．審議の結果，事業担当者を中川理事とし，ぼうさいこくたい 2021 におけるセッション開催を社会活動基金の活動とすることを承認した．

第４号議案　秋季大会講演予稿不採択における不服申し立てについて

綿田理事（大会・企画担当）より，事前に理事ＭＬに報告があった日本地震学会 2021 年度秋季大会において大会・企画委員会が不採択とした投稿者からの理事会への不服申し立てについて，理事会での再審査にあたり大会・企画委員会での不採択の判断となった経緯及び関係資料が提示された．不採択とした経緯を確認後，不服申立ての内容と予稿原稿を再審査した結果，不採択とした大会・企画委員会の判断を支持するものとし，申立者に回答を行うことを承認した．

第５号議案　入会承認について

中島常務理事から，入会申請者の承認に関する件について諮られ，審議の結果，正会員に申し込みのあった５３名（内学生４４名）の入会を全会一致で承認した．また，提出された学生会費適用申請書について報告された．

６．報告事項

以下の報告があった．

1. 中島常務理事より，正会員６名（内学生１名）の退会の報告があった．

2. 久家副会長（ダイバーシティ推進担当・国際担当）より，業務執行報告が行われた．2021 年 7 月 29 日に 2021 年度第 1 回 IASPEI 委員会を開催し，IAGA-IASPEI2021 について IASPEI 関連のビジネスミーティング等報告を委員が分担しニュースレターへ投稿すること，各種国際会議の活動報告と今後の予定について確認したことが報告された. 今後の予定として次回 IUGG が 2023 年にベルリンで開催予定であり，その時期に IASPEI 執行部が交代予定であることもあわせて報告された. 日本学術会議の国際学術団体の見直しについて IUGG 分科会と共に国際学術団体状況調査票提出の準備を進めていることが報告された．ダイバーシティ推進事業について JpGU2021 休日託児保育利用一部補助事業において申請がなかったこと，秋季大会託児室はオンライン開催のため運営しないことが報告された．また，地震学会会員

の女性比率および他学会と比較した一般会員女性比率と学生会員女性比率が紹介され，地震学会の現状について報告された．地震学会会員の最新の女性比率についてダイバーシティ推進委員会からの情報として会員専用ページに掲載することが提案され，問題ないことを確認した．また，理事会からの提案で，メールニュースにも掲載することとした．

3. 久田副会長（連絡会議担当）より業務執行報告が行われた．地震学を社会に伝える連絡会議を 7 月 14 日午前に開催し，前回議事録の確認，オンライン学会発表におけるコンテンツの公開についての検討，地震学を社会に伝える活動について，2023 年大会と関東地震 100 周年に関する日本地震工学会との連携企画，今後の活動の議論を行ったことが報告された．オンライン学会発表におけるコンテンツの公開については権利の問題が難しいことから, 2 月に開催した一般公開セミナーの資料公開は見送り今後のオンラインコンテンツ公開のガイドラインを整理する必要があること，関東地震 100 周年に関する日本地震工学会との連携企画について日本地震工学会の動向を確認し，10 月 4 日に開催される会長懇談会において議論することが報告された．地震学を社会に伝える活動については久家副会長から被害地震時の対応及び大地震発生時の対応計画の案が報告された．

4. 室谷理事（地震編集担当）より，業務執行報告が行われた．地震（学術論文部）の編集状況について，冊子体 9 月号および会員専用ページに 2 編を掲載したこと，冊子体 11 月号は現時点で 1 編を掲載予定であることが報告された．「地震」書誌情報の EBSCOhost への登録が開始され会員へ周知を行ったこと，史料・資料・技術報告及び表紙の表記について「地震」の投稿規定および投稿細則の一部を改訂したこと，査読指針を HP 上で公開したことが報告された．その他，解説記事の招待論文を地震動物理学および 2021 年東北地方太平洋沖地震について各 1 編依頼したことが報告された．また，久田副会長から関東地震 100 周年の特集について意見が出され，委員会で検討することとした．

5. 酒井理事（海外渡航旅費助成・表彰担当）より業務執行報告が行われた．2021 年 8 月 26 日に表彰委員会が開催され，前回理事会での日本地震学会賞選考委員会からの報告を受けて表彰委員会で対応を検討した。日本地震学会賞を定着するための議論を行い，理事会からのメッセージの発信や候補者の推薦等の提案があったことが報告された. 表彰委員会からの報告を受けて, 毎年受賞者が出るようにした方が良い，規定の再検討を行ってはどうか，賞の定着のため受賞者が連続することで道筋をつけることが必要，機関連絡員や会員へ積極的に推薦を促すようにするのはどうかなどの意見があった．今年度の公募が 11 月に開始されるため，まずは公募に合わせて

賞に関するメッセージを出すよう表彰委員会で検討することとした．一方，海外渡航旅費助成事業について 2021 年度後期の募集が 8 月 31 日に締め切られ，1 件の応募について委員会において審査中であること，2021 年度前期の助成は A・B 助成それぞれ 1 件が採択されていたが，A 助成については渡航ができなかったため辞退届が提出されたこと，B 助成については報告書を委員会で審査し参加費のみ助成する予定であることが報告された．

6. 綿田理事（大会・企画担当）より業務執行報告が行われた．投稿が締め切られ，301 件の投稿があったこと，一般公開セミナーはオンライン開催とし講演者については完全オンラインもしくは一か所に集まっての講演か検討中であること，特別セッションへの非会員の投稿について，特別セッション毎に投稿受け入れ方針を決定できるように投稿規則の改定を検討予定であることが報告された．

7. 吾妻理事（災害調査担当）より，業務執行報告が行われた．防災学術連携体における活動報告として 2021 年 8 月 3 日に府省庁を含めた連絡会および 8 月 6 日に総会が行われたこと，松島委員が連携体の幹事となったこと，JpGU 環境災害対応委員会について次回のセッション提案に対応する予定であることが報告された．その他，秋季大会の委員会活動紹介ポスターの内容を検討していることが報告された．

8. 佐藤理事（広報担当）より業務執行報告が行われた．なゐふる 126 号を 8 月に刊行したこと，2021 年 10 月 14 日に記者懇談会を開催予定であることが報告された．

9. 干場理事（強震動担当）より業務執行報告が行われた．地震（ニュースレター部）に連載している「新・強震動観測の最新情報」の連載状況，2021 年 12 月 3 日にオンラインで開催する強震動講習会の準備を行っており，10 月 1 日から受付を開始，70 名程度の募集とし参加費を従来よりも引き下げ、日本地震工学会・日本活断層学会と共催すること，2021 年 10 月 28 日に開催する第 37 回研究会の予定，地震（ニュースレター部）に連載していた「新・強震動地震学基礎講座」(2017 年 1 月～2019 年 3 月）の単行本化の進捗状況，次回の委員会開催予定が報告された．

10. 齊藤理事（欧文誌運営担当）より，業務執行報告が行われた．2021 年度第 2 回 EPS 誌運営委員会が 2021 年 7 月 26 日に開催されたこと，EPS 誌の 2020 年度会計報告資料が提示され会計監査において適正に予算使用・会計処理され問題ないとの判断を得たこと，IAGA-IASPEI2021 においてオンラインブースを出展したことが報告された．

11.　加納理事（学校教育担当）より業務執行報告が行われた．2021 年 8 月 3 日に委員会を開催し，委員会ウェブページの更新のため準備を行っていること，2021 年 12 月 27 日にオンラインで教員免許状更新講習及び教員ウィンターミーティングの開催を準備していること，次回委員会を 10 月に開催予定であることが報告された．

12.　豊国理事（学会情報誌編集担当）より，業務執行報告が行われた．メールニュースの発行を滞りなく行っていること，地震（ニュースレター部)』における新連載の企画について先の「新・強震観測の最新情報」に関連した，国内の臨時観測や機動観測，会員が関わっている海外での地震観測に着目した新連載を検討中であることが報告された．

13.　中川理事（ジオパーク支援・普及行事担当，社会活動基金事業担当）より業務執行報告が行われた．普及行事事業では，地震火山地質こどもサマースクールのオンラインも導入を検討し，現地からのスマホテスト配信，オンライン実験，ジンバルエイズのスムーズさ確認などを 2021 年 8 月 16 日に全面オンラインで実施し，テスト結果を踏まえて今後も実施方法を検討していくこと，次年度 JpGU への学会連合セッションの提案，秋季大会の委員会活動紹介ポスターの作成準備について報告された．ジオパーク支援事業については日本ジオパーク学術支援連合（JGASU）の発足と Web サイト公開について，秋季大会期間中の 2021 年 10 月 16 日昼休み時間にジオパークオンライン巡検を行うこと，2021 年 11 月 1 日に「ジオパーク活動で使える地震学 5『ジオパーク』×『活断層』」をオンラインミーティングとして開催することが報告された．そのほか，2021 年 9 月 11 日に開催される第 7 回東北ジオパーク学術研究者会議に委員会から参加する予定．

14.　中島常務理事から理事の欠員の補充（役員代議員の補充）について，その手順が十分に検討できていないため今回の代議員選挙制度への適用ができなかったこと，引き続き検討をするが次期の理事会への申し送り事項となることが報告された．

15.　事務局より会員管理システムの運用状況について報告が行われた．7 月 1 日から運用を開始した会員管理システム SMOOSY についての経過報告，会費納入状況，運用開始後の変更点などが報告された．運用状況について会員への説明をしたほうが良いとの意見があり，ニュースレターやメールニュース等で会員へ向けての報告を検討する．

7．意見交換

以下の意見交換があった.

1. 事務局より事務局移転の検討について資料が提示された.定款に記載された所在地にこだわる必要はないのでは，事務局に現在保管している資料を整理する必要があるとの意見があり，今後，移転を具体的に中島常務理事及び事務局において検討することとした.